

町方町古江交差点の安全対策の状況は

真野 和久議員



もう一度待機場所の確保をお願いする

企画政策部長

問 通学路3カ所の安全確保について尋ねる。

町方町古江の交差点について、信号待ちで児童が退避する場所が大変狭く、中学生・高校生の自転車の退避する場所もない。これまで何度か質問し、改善を求めてきた。土地購入などの検討も進んでいない。取り組み状況は。

答 用地の確保を試みたが、協力を得られなかった。しかし、通学路合同点

検結果で要望もあり、待機場所を確保したい。教育委員会として、市

土木課の協力を得て、町方町と草平町総代にも安全対策が必要である旨を説明し、土地所有者に交差点改良の必要性の説明と協力をお願いする準備を進めている。

問 西川端橋の北の横断歩道について、交通量が多く、横断歩道は橋のすぐ北側で、橋の番上でも

見えない。押しボタン式の信号を設置したり、交通指導員などの配置ができないか。

答 一学童横断注意などの路面標示に加え、横断歩道の指示標識が片持式で車道部の上方に設置され、一定の安全が確保されている。指導員の配置は考えていない。今後、地域からの要望があれば、県や警察へしっかりと伝えていきたい。



西川端橋北横断歩道



町方町古江交差点



草平小学校北カーブの変形五叉路

▲取り上げた交通安全上の危険箇所

問 草平小学校北側の変形五差路について、「自転車同士がぶつかって倒れ、車の交通量も多くて非常に危険だった。対策してほしい」と市民から話があった。路側帯も狭く、側溝の蓋もない。見通しの改善や歩道の確保などの改善ができないか。

答 県に確認したが、現時点では具体的な計画はない。今後、地元からの要望があれば、愛知県や警察へしっかりと伝えてい

きたい。

学校統廃合の前提なしに地域協議を

問 小規模特認校など、魅力ある学校をつくる。

長野県伊那市の伊那西小学校では、ICTと森を使った特色ある教育で地域以外からの生徒も増えている。立田・八開地区での統合について、反対の意見が多い、わからないという人が多い状況だ。統廃合を前提としない話し合いが大事では。

答 子どもに様々な経験をさせてやりたい。発達段階に応じた対応が必要。あまりにも少ない小学校についても、議論をしていかなければいけない。